

2階建て木造専用住宅 プランニング設計

【建設工学3年 西澤 七音】

1. はじめに

僕は2年生の授業で行った住宅設計で設計の分野に興味を持ち、課題研究でも建物を設計したいと思い、製図コンクールの課題に取り組みました。

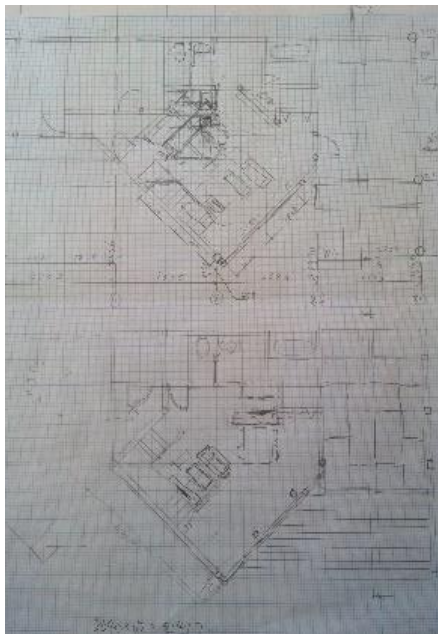
2. 研究の内容

内容は2年生で行った授業と同じもので、東日本建築教育研究会が主催の製図コンクールの木造2階建て専用住宅の自己設計を行いました。

3. 手順

1) 平面計画

いくつかのプランを考えて、先生とのエスキスをくりかえし、納得できる図面に仕上げる。

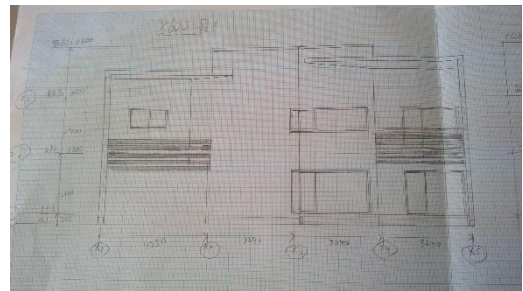


中央のリビング空間は、斜めにした箱をそのままはめ込んだようなデザインにした。

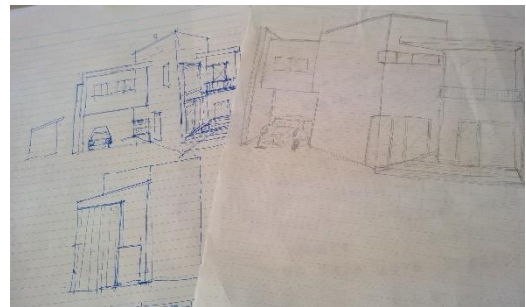
内側と外側を自然に繋ぐことを意識して計画した。

2) 立面・断面計画

立面図を描いてみると、平面では気付かなかった違和感や、もっとこうしたいという案が見えてくる！

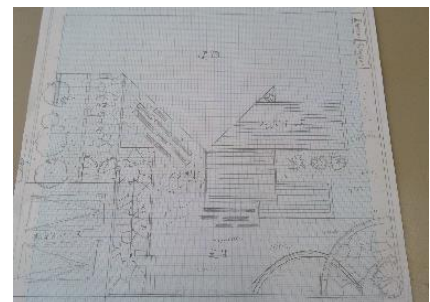


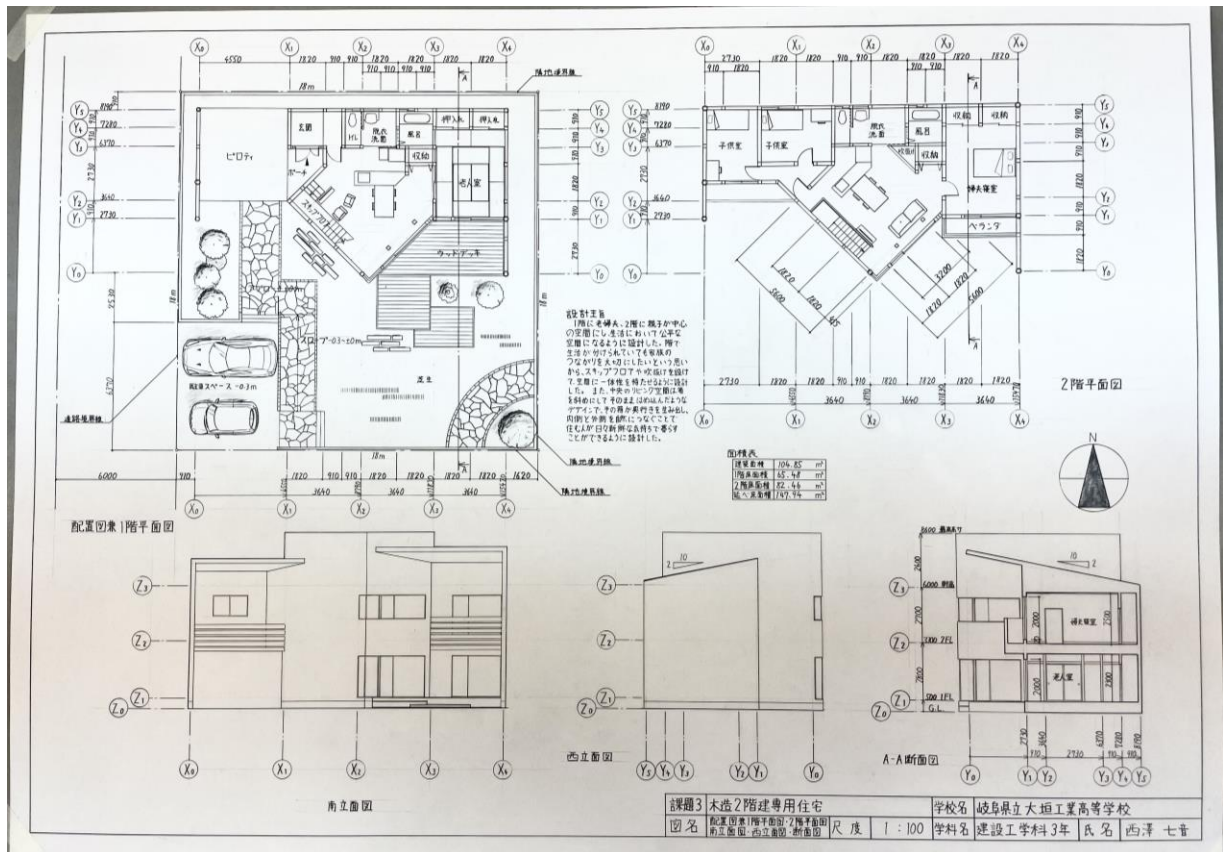
簡単なパースを描いて、全体のイメージを把握する



3) 外構計画

斜めになった壁をいかしてウッドデッキを配置したり、建物の形状に合うように計画を進めた。正方形の敷地にデザインしていくと、スペースが余ったり思った通りに計画が進まず、難しいと感じた。





<完成図面>

4. 反省・感想

3年生になって改めて設計課題に取り組んでみて、もっと建築を見て知ることが必要だと思いました。設計を進めていくなかで案がうかばなかったり、自分がこうしたいと思ってうまくいかなかったりと妥協をする部分が多くありました。時間をかけて略設計を何度も描きなおし、先生とのエスキスを繰り返して納得のいく家を設計することができました。

また、設計課題をするには計画性がとても重要だと感じました。僕は図面の完成までを課題研究の時間中に終わらず、放課後も製図室に残って図面を描いていました。期限ぎりぎりになって焦って描くということがないように、期間を区切って計画的に進めていくことが大事だと改めて実感しました。

これから卒業設計に入るのでこの課題研究で学んだことを生かして、計画的に設計に取り組んで行きたい。